

八曾自然休養林の亀割駐車場からまず岩見山(250m)を目指しました。林縁は照葉樹の緑色が多いなか、落葉樹のコナラ、アベマキの金茶色、タカノツメ、ガンピの黄色、カマツカ、ウスノキの紅色が鮮やかでした。山頂付近ではお目当てのツクバネが群生していますが今年は実の数が少ないようです。眺望を楽しんだあと八曾滝に向かい昼食休憩をとりました。イロハモミジ、コハウチワカエデが散り敷き、そこで落ちていた大き目のドングリは毛深い横縞の殻斗でツクバネガシと判断しました。オオウラジロノキでは幹に残る刺状の枝や葉裏に密生した毛の手触りを確かめたり、小型の林檎のような実を拾い集めたりもしました。次は八曾山(327m)に登頂、薄っすらと雪をかぶった遠方の山々を見渡しました。帰り道はタカノツメの甘い香りを楽しみながらも延々と県境に沿ったゆるやかな山道を歩いて駐車場に到着、約16000歩の楽しくも少々ハードなハイキングを無事終了しました。(後藤)

[その他観察したもの] アラカシ、ウラジロガシ、サカキ、ヒサカキ、クロバイ、シキミ、アセビ、サネカズラ、リンボク、ピロードイチゴ、フユイチゴ(実)、ウラジロノキ(実)、ヒメハギ、ニコゲヌカキビ等

